

平成28年度行政事業レビューシート (復興庁)

| | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|--------|---|--|---------|---------|--------------|----------|--|
| 事業名 | 原子力施設事故影響調査 | | | 担当部局庁 | 復興庁 | | | 作成責任者 | | |
| 事業開始年度 | 平成24年度 | 事業終了(予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 統括官付参事官(予算・会計担当) | | | 参事官 後藤 浩平 | | |
| 会計区分 | 東日本大震災復興特別会計 | | | | | | | | | |
| 根拠法令(具体的な条項も記載) | | | | 関係する計画、通知等 | 総合モニタリング計画(平成23年8月2日決定) 防災基本計画(平成24年9月決定) | | | | | |
| 主要政策・施策 | 科学技術・イノベーション | | | 主要経費 | その他の事項経費 | | | | | |
| 事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 原子力規制委員会がその役割である放射線モニタリングの司令塔機能(原子力規制委員会設置法第4条第6号)を果たすため、環境モニタリングにより環境中の放射能の状況を適切に把握し、原子力安全規制を的確に実施するとともに、事故発生時の初動対応など危機管理を迅速かつ的確に行う。またその着実な実施により、被災地の復旧・復興や住民の安心に貢献することを目指す。 | | | | | | | | | |
| 事業概要(5行程度以内。別添可) | 東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所からの影響把握のための環境放射能のモニタリング等を実施する。具体的には、①航空機による空間線量率の広域調査、②放射性物質の分布状況マップの作成等、③閉鎖的領域における放射線モニタリング、④海域における放射性物質の分布状況の調査、⑤東京電力福島第一原子力発電所事故による環境モニタリング等データベースの構築、⑥農地土壌等の放射性物質の分布状況等の推移等の調査、⑦食物連鎖を介した放射性物質の動態把握、⑧環境モニタリングデータをリアルタイムに公表するためのホームページ充実、等を実施する。 | | | | | | | | | |
| 実施方法 | 直接実施、委託・請負 | | | | | | | | | |
| 予算額・執行額(単位:百万円) | 予算の状況 | 当初予算 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度要求 | | | |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | - | | | |
| | | 前年度から繰越し | - | - | - | - | - | | | |
| | | 翌年度へ繰越し | - | - | - | - | - | | | |
| | | 予備費等 | - | - | - | - | - | | | |
| | | 計 | 3,174 | 2,922 | 1,556 | 1,390 | 1,298 | | | |
| | 執行額 | 2,556 | 1,901 | 1,352 | | | | | | |
| 執行率(%) | 81% | 65% | 87% | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 中間目標年度 | 目標最終年度 | |
| | | | 成果実績 | | - | - | - | - | - | |
| | | | 目標値 | | - | - | - | - | - | |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | - | - | |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック | | | | | | | | | | |
| 定量的な成果目標の設定が困難な場合 | 定量的な目標が設定できない理由 | | | 定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績 | | | | | | |
| | 定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標 環境放射能のモニタリング等を着実に実施し、東京電力福島第一原子力発電所由来の放射性物質の影響を把握する。これにより得られた正確な情報を発信することによって、被災地の復旧・復興や住民の安心に貢献することを本事業の目標とするため、住民の安心感の醸成といった本成果目標を達成するための定量的な数値目標を設定することは困難。 | | | 以下の環境放射能モニタリングを実施し、正確な情報を発信することにより、被災地の復旧・復興や住民の安心に貢献した。 ・平成25年度:福島県を中心とする東日本の広い範囲で環境放射能モニタリングを実施。結果をマップ化した。また、平成25年度限りで北大西洋における放射性物質の分布調査等を実施した。 ・平成26年度:平成25年度と同様の調査を実施し経年変化を把握。 ・平成27年度:調査頻度の合理化を行った上で、平成26年度と同様の調査を実施し経年変化を把握。 | | | | | | |
| 事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績 | 代替目標 | 代替指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 中間目標年度 | 目標最終年度 | |
| | 事業の成果を広く公開することを代替目標とする。 | 放射線モニタリング情報ポータルサイトのアクセス数 | 実績 | 件 | 457,988 | 260,080 | 164,398 | | 32 | |
| | | | 目標値 | 件 | 300,000 | 200,000 | 200,000 | | 100,000 | |
| | | | 達成度 | % | 152.7 | 193.9 | 82.2 | | | |
| 活動指標及び活動実績(アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 | | |
| | ①航空機による空間線量率の広域調査回数 | 活動実績 | 回数 | 1 | 1 | 1 | | | | |
| | | 当初見込み | 回数 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 活動指標及び活動実績(アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 | |
| ②放射性物質の分布状況マップ作成のための調査回数 | | 活動実績 | 回数 | 1 | 1 | 1 | | | | |
| | | 当初見込み | 回数 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |

| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 |
|---------------------------------|--------------|----------|-------|----------|----------|-----------|----------|
| | 活動実績 | 当初見込み | | | | | |
| ④曳航調査において作成した報告書数 | 活動実績 | 冊 | 冊 | 5 | 5 | 8 | - |
| | 当初見込み | 冊 | 冊 | 5 | 5 | 8 | - |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 |
| | 活動実績 | 当初見込み | | | | | |
| ⑦測定した水生生物、環境試料(環境水、底泥、餌料生物)の検体数 | 活動実績 | 検体数 | 検体数 | 2,968 | 2,041 | 1,459 | - |
| | 当初見込み | 検体数 | 検体数 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 1,600 |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 |
| | 活動実績 | 当初見込み | | | | | |
| ⑧放射線モニタリング情報ポータルサイトの運営日数 | 活動実績 | 日数 | 日数 | 365 | 365 | 366 | - |
| | 当初見込み | 日数 | 日数 | 365 | 365 | 366 | 365 |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 |
| | ①実施予算額/調査回数 | 単位当たりコスト | | | | | |
| | | 計算式 | 百万円/回 | 1173/1 | 1236/1 | 562/1 | 516/1 |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 |
| | ④実施予算額/報告書数 | 単位当たりコスト | | | | | |
| | | 計算式 | 百万円/回 | 290/5 | 402/5 | 199/8 | - |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 |
| | ⑦実施予算額/調査検体数 | 単位当たりコスト | | | | | |
| | | 計算式 | 百万円/回 | 119/2968 | 110/2041 | 102/1,459 | 93/1,600 |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度活動見込 |
| | ⑧実施予算額/運営日数 | 単位当たりコスト | | | | | |
| | | 計算式 | 百万円/回 | 80/365 | 103/365 | 83/365 | 100/365 |

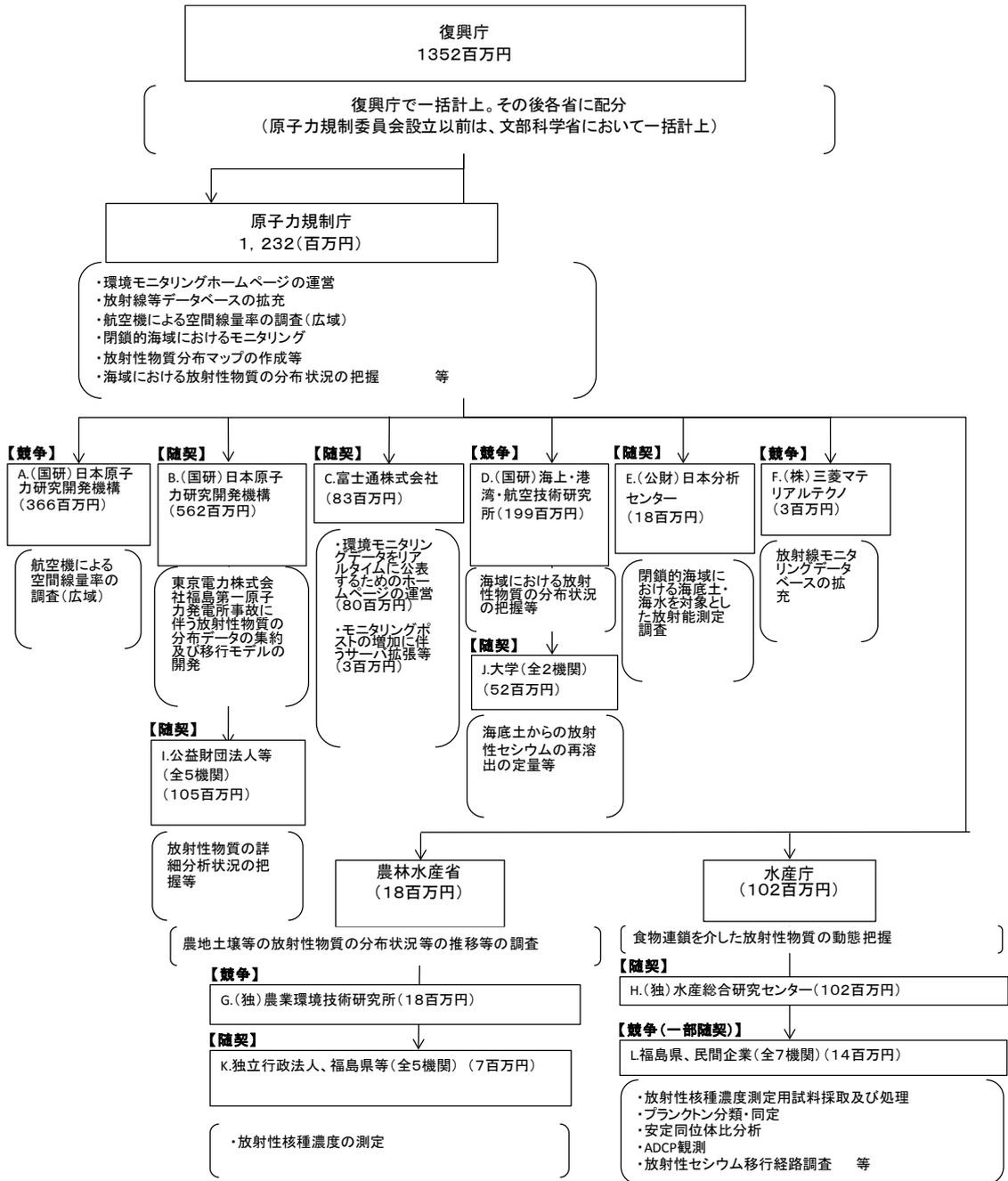
| 平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円) | 歳出予算目 | 28年度当初予算 | 29年度要求 | 主な増減理由 |
|---------------------------|--------------|----------|--------|--------------|
| | 放射性物質測定費 | 123 | 123 | 水産庁事業終了による減。 |
| | 放射性物質測定調査委託費 | 1,266 | 1,174 | |
| | 事務費 | 1 | 1 | |
| | - | - | - | |
| | - | - | - | |
| | - | - | - | |
| | 計 | 1,390 | 1,298 | |

| 政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係 | 政策 | 原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること | | | | | | | |
|-----------------------------|------|--|-----------------------|--|----|------|------|------|------|
| | | 施策 | 原子力災害対策及び放射線モニタリングの充実 | | | | | | |
| | 測定指標 | | 定量的指標 | | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 中間目標 |
| | | 環境モニタリング結果の解析・公表 | | 年度 | | | | | 32 |
| | | 実績値 | 回 | 36 | 52 | 48 | | | |
| | | 目標値 | 回 | 12 | 50 | 50 | | 12 | |
| 定性的指標 | | 目標 | 施策の進捗状況(目標) | | | | | | |
| 放射線モニタリングの実施 | | 総合モニタリング計画等に基づく放射線モニタリングの着実な実施 | 平成27年度 | 環境放射能のモニタリング等を着実に実施し、東京電力福島第一原子力発電所由来の放射性物質の影響を把握する。得られた正確な情報を発信することによって、被災地の復旧・復興や住民の安心に貢献する。 | | | | | |
| | | 施策の進捗状況(実績) | | | | | | | |
| | | 福島県を中心とする東日本の広い範囲で環境放射能モニタリングを実施し、結果をマップ化した。 | | | | | | | |

| 関係 | | 本事業の成果と上位施策・測定指標との関係 | |
|-----------------------------|--|---|--|
| | | 福島県を中心にきめ細かな放射線モニタリングを実施し、放射性物質の影響を把握するとともに、得られた情報を発信することで、被災地の復旧・復興や住民の安心に資する。 | |
| 事業所管部局による点検・改善 | | | |
| | 項目 | 評価 | 評価に関する説明 |
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 福島を中心とする東日本の広い範囲での東京電力株式会社福島第一原子力発電所施設からの影響を調査するための環境放射能モニタリングは他になく、国民や社会のニーズを的確に反映している。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 東京電力株式会社福島第一原子力発電所施設からの放射能影響調査については、当該発電所事故を踏まえ、社会的にも国が率先することが求められており、また、調査範囲が県の枠を越え広範囲に及ぶことから、地方自治体、民間等に委ねることは適切ではない。 |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 福島を中心とする東日本の広い範囲での東京電力株式会社福島第一原子力発電所施設からの影響を調査するための環境放射能モニタリングは他になく、優先度が高い。 |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | 各テーマの性格にあわせて、最適な契約手続を採用しており、一般競争入札を導入することが適切なものについては、当該一般競争を導入して支出先を選定しており、競争性を保っている。なお、一部の対象業務が専門性の高いものであったため、一者応札や随意契約のとなったものもあるが、支出先が示した実績、実施体制及び実施計画から妥当と判断した。 |
| | 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 有 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 有 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | 東京電力株式会社福島第一原子力発電所施設からの放射能影響調査については、当該発電所事故を踏まえ、社会的にも国が率先することが求められており、国が全額負担することは妥当である。 |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 本事業の実施にあたり、事業間の役割分担を明確にさせる等により、支出を合理的に行っている。 |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | ○ | 中間段階での支出において、経済性・競争性が確保されていることなど、合理的なものとなっているかについて指導・確認している。また、随意契約については、委託先の規定に基づく合理的な手続が行われているかを確認している。 |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | モニタリングの頻度等を精査しており、事業目的に即し必要な物に限定している。 |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ | 前年度の調査結果に応じて適切な調査規模を精査し、効率的な執行に努めている。 | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ | 各種モニタリングを実施し公表することにより住民の安心に資することができている。 |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ | 東京電力株式会社福島第一原子力発電所施設からの放射能影響調査については、当該発電所事故を踏まえ、社会的にも国が率先することが求められており、また、調査範囲が県の枠を越え広範囲に及ぶことから、国による事業実施形態(委託)の他の手段・方法等を探ることは考え難い。 |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 活動実績は当初見込みに見合っている。 |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | 運営している放射線モニタリング情報ポータルサイトにおいて国内外から毎月16万件程度のアクセスがあり、住民の安心に資することができている。 |

| | | | | | |
|--------------------------------|--|---|------------|--------|--|
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | | - | | 「総合モニタリング計画」に基づき、関係府省、地方公共団体、原子力事業者等が連携してモニタリングを実施することとしており、本事業では、①航空機による空間線量率の広域調査、②放射性物質の分布状況マップの作成等、③閉鎖的海域における放射線モニタリング、④海域における放射性物質の分布状況の調査、⑤東京電力福島第一原子力発電所事故による環境モニタリング等データベースの構築、⑥農地土壌等の放射性物質の分布状況等の推移等の調査、⑦食物連鎖を介した放射性物質の動態把握、⑧環境モニタリングデータをリアルタイムに公表するためのホームページ充実、等を実施する。 |
| | 所管府省・部局名 | 事業番号 | 事業名 | | |
| | 環境省大気環境課、水環境課、地下水・地盤環境室、海洋環境室、総務課 | 203 | 環境モニタリング調査 | | |
| | | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 一部の対象業務が専門性の高いものであったため、一者応札となったものもあるが、支出先が示した実績、実施体制及び実施計画から妥当と判断した。また、東京電力株式会社福島第一原子力発電所施設からの放射能影響調査については、当該発電所事故を踏まえ、社会的にも国が率先することが求められており、引き続き実施していくことが必要なものである。 | | | |
| | 改善の方向性 | 執行面において、一者応札があった点については、一般競争入札を導入しており競争性の確保に努めているが、さらに仕様書の具体化や入札公告期間を十分に確保することなどに留意しつつ、引き続き、効率的な執行を行っていく。また、実施すべき調査項目等の精査を十分に行い、予算要求に向けた検討を行っていく。 | | | |
| 外部有識者の所見 | | | | | |
| 点検対象外 | | | | | |
| 行政事業レビュー推進チームの所見 | | | | | |
| 現状通り | 事故由来の放射性物質の影響把握のため、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。 | | | | |
| 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 | | | | | |
| 現状通り | 引き続き効率的・効果的な予算執行に努めていく。 | | | | |
| 備考 | | | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | | | |
| 平成22年度 | - | 平成23年度 | - | 平成24年度 | - |
| 平成25年度 | 新25-062 | 平成26年度 | 236 | 平成27年度 | 0233 |

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位:百万円)

| A.(国研)日本原子力研究開発機構 | | | B.(国研)日本原子力研究開発機構 | | |
|-------------------|-----------------|---------|-------------------|-----------------------------|---------|
| 費目 | 用途 | 金額(百万円) | 費目 | 用途 | 金額(百万円) |
| 事業費 | ヘリコプター運航費、測定業務費 | 333 | 人件費 | 特定課題推進員 | 47 |
| その他 | 一般管理費 | 33 | 事業費 | 検討会開催費、調査実施費 | 331 |
| - | - | - | 再委託費 | 走行サーベイの高度化、放射性セシウム沈着量の面的調査等 | 105 |
| - | - | - | その他 | 一般管理費、消費税等 | 79 |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | | 366 | 計 | | 562 |

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

| C.富士通株式会社 | | | D.(国研)海上・港湾・航空技術研究所 | | |
|------------|------------------------------|-------------|---------------------|-------------------------------|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| ホームページの運営費 | データセンター費用、回線費用等 | 80 | 旅費 | 旅費 | 1 |
| サーバ容量の拡充費 | 放射線モニタリング統合システムの最適化、ストレージ拡張等 | 3 | 備品費 | セジメントラップ | 4 |
| - | - | - | 外注費 | 海底地形土質調査、福島県沖中京調査等 | 125 |
| - | - | - | 補助員人件費 | 補助員人件費 | 4 |
| - | - | - | その他諸経費 | 謝金、消耗品費、総量等 | 1 |
| - | - | - | 再委託費 | 海底土における放射性セシウムの再溶出に関する調査分析業務等 | 52 |
| - | - | - | 一般管理費 | 一般管理費 | 12 |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | | 83 | 計 | | 199 |

| E.(公財)日本分析センター | | | F.(株)三菱マテリアルテクノ | | |
|----------------|-----------------|-------------|-----------------|----------------|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 調査員 | 7 | 人件費 | 人件費 | 2.1 |
| 事業費 | 外注費、消耗品費、通信運搬費等 | 8 | 事業費 | 旅費、消耗品費、補助員人件費 | 0.7 |
| その他 | 一般管理費、消費税等 | 3 | 一般管理費 | 一般管理費 | 0.2 |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | | 18 | 計 | | 3 |

| G.(国研)農業環境技術研究所 | | | H.(国研)水産総合研究センター | | |
|-----------------|------------------------------|-------------|------------------|-------------------|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 物品購入費 | 消耗品、河川流速計 | 3 | 物品購入費 | 海洋環境測定器、実験機器、消耗品 | 55 |
| 雑役務費 | 分析要員派遣料、借損料等 | 5 | 再委託費 | (株)同位体研究所、千葉県等 | 14 |
| 再委託費 | 福島県、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所等 | 7 | 賃金 | 契約研究員、研究・事務補助員 | 16 |
| 賃金 | 契約研究員、研究・事務補助員 | 2 | 雑役務費 | 用船料等 | 6 |
| その他 | 職員旅費、研究所水道光熱費等 | 1 | 光熱水量費 | 測定資料灰化等 | 6 |
| - | - | - | その他 | 職員旅費、通信運搬費、消費税相当額 | 5 |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | | 18 | 計 | | 102 |

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.(国研)日本原子力研究開発機構

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-----------------|---------------|----------------------------------|--------------|--------|----------------|-----|---|
| 1 | (国研)日本原子力研究開発機構 | 6050005002007 | 広域における航空機モニタリングを活用した放射性物質の分布状況調査 | 366 | 一般競争入札 | 1 | 91% | - |

B.(国研)日本原子力研究開発機構

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-----------------|---------------|---|--------------|-----------|----------------|-----|---|
| 1 | (国研)日本原子力研究開発機構 | 6050005002007 | 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の分布データの集約及び移行モデルの開発 | 562 | 随意契約(その他) | - | - | - |

C.富士通株式会社

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|---------|---------------|-------------------------------------|--------------|-----------|----------------|-----|---|
| 1 | 富士通株式会社 | 1020001071491 | 環境モニタリングデータをリアルタイムに公表するためのホームページの運営 | 80 | 随意契約(その他) | 1 | - | - |
| 2 | 富士通株式会社 | 1020001071491 | ホームページ運営用サーバ量の拡充 | 3 | 随意契約(その他) | 1 | - | - |

D.(独)海上技術安全研究所

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-----------------------|---------------|----------------------|--------------|--------|----------------|-----|---|
| 1 | 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 | 5012405001732 | 海域における放射性物質の分布状況の把握等 | 199 | 一般競争入札 | 1 | 89% | - |

E.(公財)日本分析センター

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|--------------|---------------|------------------------------|--------------|-----------|----------------|-----|---|
| 1 | (公財)日本分析センター | 6040005001380 | 閉鎖的海域における海底土・海水を対象とした放射能測定調査 | 18 | 随意契約(その他) | 1 | - | - |

F.(株)三菱マテリアルテクノ

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|---------------|---------------|----------------|--------------|--------|----------------|-----|---|
| 1 | (株)三菱マテリアルテクノ | 5010001023531 | 放射線量等データベースの拡充 | 3 | 一般競争入札 | 3 | 43% | - |

G.(国研)農業環境技術研究所

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-----------|---------------|--|--------------|------------|----------------|------|---|
| 1 | 農業環境技術研究所 | 1050005005204 | 福島県及びその周辺における、農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向を把握する。 | 18 | 随意契約(企画競争) | 1 | 100% | - |

H.(国研)水産総合研究センター

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|----------------|---------------|---|--------------|-----------|----------------|-----|---|
| 1 | (国研)水産総合研究センター | 1020005004051 | 福島県周辺海域及び内水面における水生生物について、放射性物質濃度とその変化の把握、食物連鎖を通じた放射性物質の濃縮過程を解明する。 | 102 | 随意契約(その他) | - | - | - |

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

| I. 一般財団法人日本地図センター | | | J. 国立大学法人金沢大学 | | |
|-------------------|-----------------------------------|-------------|---------------|----------------------------|-------------|
| 費目 | 使 途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金額 (百万円) |
| 事業費 | 空間線量率等分布マップの作成と公開 | 56 | 事業費 | 海底土における放射性セシウムの再溶出に関する調査分析 | 30 |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | | 56 | 計 | | 30 |
| K.福島県 | | | L.(株)同位体研究所 | | |
| 費目 | 使 途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金額 (百万円) |
| 事業費 | 福島県及びその周辺における作物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握 | 4 | 雑役務費 | 安定同位体比分析 | 4 |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | | 4 | 計 | | 4 |

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

I

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-----------------------|---------------|---|--------------|---------------|----------------|-----|---|
| 1 | 一般財団法人日本 地図センター | 7013205000047 | 空間線量率等分布マップ の作成と公開 | 56 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 2 | 公益財団法人日本 分析センター | 6040005001380 | 放射性セシウム沈着量の 面的調査、放射性セシウム の深度分布の調査 | 24 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 3 | 公益財団法人原子 力安全技術センター | 6010005018634 | 放射性セシウム沈着量の 面的調査 | 11 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 4 | 公益財団法人放射 線計測協会 | 4050005010671 | 放射性セシウム沈着量の 面的調査 | 7 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 5 | 公益財団法人環境 科学技術研究所 | 1420005006718 | 放射性セシウムの深度分 布の調査 | 7 | 随意契約 (その他) | - | - | |

J

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|------------------------------|---------------|----------------------------|--------------|---------------|----------------|-----|---|
| 1 | 国立大学法人金沢 大学 | 2220005002604 | 海底土放射性セシウムの 再溶出に関する調査分析 | 30 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 2 | 国立大学法人東京 大学生産技術研究 所事務部 | 5010005007398 | 海底土放射能分析機器の 調整及び測定 | 22 | 随意契約 (その他) | - | - | |

K

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|---|---------------|--|--------------|---------------|----------------|-----|---|
| 1 | 福島県 | 7000020070009 | 福島県及びその周辺にお ける作物及び土壌の放射 能汚染レベルの動向把握 | 4 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 2 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構果樹 研究所 | 7050005005207 | 福島県及びその周辺にお ける作物及び土壌の放射 能汚染レベルの動向把握 | 1 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 3 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構畜産 草地研究所 | 7050005005207 | 福島県及びその周辺にお ける畜産物及び土壌の放 射能汚染レベルの動向把握 | 1 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 4 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構東北 農業研究センター | 7050005005207 | 福島県及びその周辺にお ける作物及び土壌の放射 能汚染レベルの動向把握 | 1 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 5 | 独立行政法人家畜 改良センター | 8380005004744 | 福島県及びその周辺にお ける畜産物及び土壌の放 射能汚染レベルの動向把握 | 0.2 | 随意契約 (その他) | - | - | |

L

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-------------------|---------------|---------------------------------------|--------------|---------------|----------------|-------|---|
| 1 | (株)同位体研究所 | 4020001084870 | 安定同位体比分析 | 1 | 一般競争入札 | 4 | 25.4% | - |
| 2 | 千葉県 | 4000020120006 | 千葉県内の内水面魚類試 料の入手及び測定用サン プル処理 | 1 | 随意契約 (少額) | - | - | |
| 3 | (株)水土舎 | 9020001064273 | 植物及び動物プランクト ンの分類・同定 | 0.2 | 一般競争入札 | 1 | 100% | - |
| 4 | 福島県 | 7000020070009 | 福島県内の内水面魚類試 料の入手及び測定用サン プル処理 | 1 | 随意契約 (その他) | - | - | |
| 5 | (公財)ふくしま海洋 科学館 | 9380005005683 | 放射性セシウム移行経路 調査に関わるベントス・魚 類の飼育実験 | 2 | 随意契約 (少額) | - | - | |
| 6 | (株)シバティンテック | 2370001003186 | 安定同位体比分析 | 8 | 一般競争入札 | 4 | 25.4% | - |
| 7 | (株)日本海洋生物研 究所 | 9010701007648 | 植物及び動物プランクト ンの分類・同定 | 0.5 | 随意契約 (少額) | - | - | |